

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE

2022年2月20日

第438号



社会福祉法人
小羊学園

住 所 〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町2709-12

電 話 053-584-3337

FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-3 P...

特集「GHの暮らし」

4 P...

クリスマス報告

5 P...

施設紹介 ぱびるす
障害のある人にやさ
しい外出スポット

6 P...

トピックス
リレートーク
支える会報告 他



グループホームの休日 みんなでおやつ作り

小羊学園(児童寮・青年寮)を全面改築して三方原スクエアにするときのコンセプトの一つは「落ち着いて暮らせる少人数での生活空間」でした。それ以前にも、若樹学園で、小舎制と称し、居住棟を4つに分け、少人数化を図りましたが、三方原スクエアの6人ずつのユニットでは、むしろグループホームでの生活に近いものをイメージしました。空間的には、それまでの大勢での生活よりも格段に落ち着いたものになりましたが、実際に、落ち着いた空間、安心できる空間というのは建物だけでは実現しません。家庭で生活している人たちの誰もが落ち着いて生活できているか、安心できる居場所になっているかという点も必ずしもそうではないように思います。住環境よりはむしろ一緒に生活する人たちが、互いに認め合い、ゆるし合い、助け合っ

て生活できていることの方が大切なのではないのでしょうか。地域社会の中には、実際の家族と暮らしていても、そこには自分の居場所がないと感じる人たちがいます。また、社会的に孤立している人もいます。

グループホームも同様に、地域の中で、仲間たちと安心して暮らせるところにするのができれば嬉しく思います。

稲松義人

グループホームの暮らし

小さな生活単位で自分らしく輝ける暮らしの実現のために

グループホーム（以下、GH）は、障害福祉サービスの訓練等給付に位置づけされた小さな住居で生活を支援するサービスです。GHは比較的自由度が高い人たちが入居しているイメージですが、小羊学園が運営しているGHには開設当初から障害程度が重い人たちが暮らしています。障害が重くても地域で暮らすことの意味を大切に支援している現状を報告します。

温心寮

【GHの概要】

- ・設置数 温心寮、ひだまり、あゆみホームの3棟
- ・開設年度 2002年度
- ・設置場所 三方原スクエア周辺
- ・定員 19名
- ・利用者の障がい像 療育手帳（ダウン症や自閉症など含む）に加え、身体障害者手帳を取得している方もおり、区分は5～6になります。



あゆみホーム

【日常的な生活の様子】

- ・GHの雰囲気 アットホームで和やかな雰囲気です。
- ・食事場面 ご自分でトレイを運んだり、食後に食器やおしぼりを洗ったりして下さる方もいます。食後にはそれぞれ好みの飲み物で、ほっと一息しながら談笑しています♪
- ・余暇場面 週末にはドライブ、散歩、近所の自販機でジュースを購入入しています。室内にて各ホームで考えた催し物を行う事もあります。

す。夏にコロナ禍で行くことができなかつた花火大会のYouTube配信をテレビに映し、焼きそばをほおばりつつ夏祭りの雰囲気を楽しみました！

・自室での過ごし方

それぞれが思い思いに過ごしています。音楽やテレビドラマ鑑賞、ひとりカラオケ、ファッションショーとバラエティ豊かです☆



リビングで絵画に熱中

【地域とのかかわり】

- ・外出 個別に買い物や散髪に出かけています。希望に添って、バスを見に浜松駅のロータリーへも足を延ばします。
- ・移動支援 現在はコロナ禍で利用できているませんが、ヘルパーさんと温泉やプール、回転寿司、美容院やカフェなどへ出掛けていました。
- ・イベント参加 地域の夏祭りに毎年参加していましたが、昨年はコロナ禍にて参加できませんでした。

・近所づきあい 回覧板を利用者さんと一緒に次のお宅へお届けしています。毎日犬の散歩をさせている方にお声掛けいただいて、にこやかに挨拶を交わしている姿も見られます。

・地域交流等

現在、3名の方が介護保険を利用して、高齢者のデイサービスへ通っています。住み慣れた小羊学園から一歩踏み出し、地域の方々と共に年齢・身体状況に合った活動の場で充実した日々を送っています。地域の中にサポーターが増えるという事は何よりも心強く感じています。積極的に地域へ出て行く事で、周りの方々の障がいに対する理解を、より深めていききたいと思っています。



バスを見に浜松駅へGo!

ひまわり・カトレア

【GHの概要】

GHひまわり・カトレアは浜北の緑豊かな丘陵地にあり、近隣には大型商業施設や映画館、病院等があります。支援センターわかぎが隣接にあり緊急時にもバックアップを受けやすい環境です。利用者の年齢は、最高齢が82歳で70歳代3名・60歳代6名・50歳代1名・20歳代2名の計13名の方が入居されています。一般住宅と変わらない構造で少しでも家庭的な雰囲気になるように意識しています。入居者は施設から移行された方・地域でご家族と暮らし転居された方と様々です。障害支援区分は4～6の方になりますが、区分5の方が多く身体介護や行動上に支援の必要な方など様々な方が共同で過ごしています。



カトレア

【お休みの日の一幕】

平日は3カ所の通所施設へ、個々のやりがいを感じられる活動に合わせ通っています。週末はGHで過ごす時間が多くなります。そんなところある週末のエピソードを少し紹介します。『今日ホットケーキが食べたいな』と入居者が言われると違う場所から『食べたい!』と別の声。『じゃあホットケーキ作ろうか』と職員が準備を始めると塗り絵をしていた方がカウンターの越しに覗き込んできました。「お手伝いしてくれませんか」と尋ねると、すぐに材料運びや材料混ぜを利用者同士で分担してくれました。焼きあがりホーム内にあまい匂いが漂うと居室で過ごしていた方もやって来て『美味しそう!』『いいじゃん!』『コーヒーもね』と皆さん笑顔でホットケーキを頬張りました。家庭的な雰囲気に入居者も職員もほっとします。



食事の運搬も自分たちで

【地域の人たちとのつながり】

人と関わる事が大好きなHさん。ウィークデーはオリーブの樹の生活介護に通い内職作業に励んでいます。そんなHさんは職員以外にも地域の人たちとのつながりを持っています。週2回夕方に訪問マッサージのスタッフがGHに来て居室で施術を受けながら、お喋りを30分楽しみます。また、今年度からは移動支援事業の利用も始めました。月に3回程度の利用です。ご本人の要望場所は、コロナ禍で実現出来ていませんが、車いすで近くを散歩してヘルパーとの会話を楽しんでいます。新しい出会いはHさんにとって新鮮で表情豊かになり、暮らしの幅が広がりました。

今後も利用者の笑顔が増え、ご本人の望まれる暮らしに近づけるように、私達は社会資源を知り連携を取り合っています。



さをりワークショップでもお喋りが楽しい

共同生活援助(GH)って?

障害者総合支援法における訓練等給付に位置付けられたサービスになります。

概ね7人以下の共同住宅で、主に夜間において相談・入浴・排泄または食事の介護その他必要な日常生活上の援助を行います。

共同生活援助には…

①外部サービス利用型

旧法のグループホーム。比較的自立された方が利用しています。

②介護サービス包括型

旧法のケアホーム。比較的重度の方が利用され、日常全般に介護を提供しています。

③日中サービス支援型

平成30年の法改正で創設されたサービス。重度化・高齢化に対応すべく、GHで日中時間帯のサービスも一体的に提供します。





皆さん大好きなクリスマス!!

毎年、木々の葉が落ち始めると
デイケアホームのクリスマス準備
がはじまります。天気の良い日は
散歩をしながら、足元の木の実や
木つるをいただきリースを作りま
す。室内では、生姜入りクッキー
を焼きました。壁に飾り、ツリー
には小さなりんごを吊り、1年間
仲間たちと楽しんだ活動体験を振
り返りクリスマスを祝福しました。
今年は、遠州栄光教会で静かに礼
拝に参加した後、ゲームや唄をう
たい、規模縮小の中でしたが楽し
いクリスマスとなりました。

移動を控えたアンサンブル江之
島最後のクリスマス会は、コロナ
禍でご家族や地域の方はご招待せ
ず、日を分け各グループ毎で行い
ました。お会いした旧施設長に嬉
しそうに挨拶する方、照れて恥ず
かしそうにしている方、中にはマ
スクをずらし顔の確認をした後笑
顔を見せる方もいました。恒例の
一年の歩みの写真を流すスライド
ショーでは、川治いを歩く映像で
旧施設長が「この散歩コースは
良かったよね」と懐かしさを口に
していました。ささやかなクリス
マス会でしたが利用者・職員共に
思いもひとしおの会となりました。



ツリーを囲んで記念写真



プレゼントもらいました♪

例年は教会へ出向き礼拝等を行
うのですが、今年はコロナウイル
スの影響もあり外出せず施設内
にて礼拝を行いました。豪華なク
リスマスランチを食べ、おやつには
ケーキを食べて、リュックのプレ
ゼントを用意しました。規模は小
さくなつてしまいましたが楽しく
過ごす事ができました。プレゼン
トに用意したリュックを背負って
オリーブにきてくれた姿をみて、
企画した担当もうれしく思いまし
た。コロナの影響で外出はできま
せんが、前向きに施設内で楽しめ
る事を考え、今だからできる事を
皆で楽しんでいきたいと思えます。

「みんなで楽しむクリスマス」気
持ちはつながる」コロナ禍だか
らこそ伝えたい思いをテーマにし
た。さて、誰とつながろう：「厨
房がいい！」いつもおいしい食事
を作ってくれる厨房職員との交流。
栄養士さんのアイデアでケーキの
デコレーションと一緒に行動した。
いつものクッキングとは違った本
格的なケーキでクリスマスランチ
に華が添えられた。また別日には
厨房職員を通所にお招きし、ト
ンチャイムの演奏披露や手作りプ
レゼントを渡して思いを伝える事
が出来た。誰かに喜んでもらうつ
て、とても素敵なことだな、と改
めて感じた。

「スイッチ」を使えば
お手の物!

コロナ禍でのクリスマス

感染対策をしながらイエス様のご降誕を
お祝いした通所施設のクリスマスを紹介しますね!



みんなで協力して

お祝いしました

デイケアホーム 大石奈緒代

アンサンブル

最後のクリスマス会

マルカート 秋田三津代

今だからできる

クリスマス

オリーブの樹 大山 亮

おもてなし気分で

クリスマス!

わたぐも 高村慈恵

私たちのこともっと伝えたい! 今回は **ぱびるす**

の魅力を伝えます

○児童発達支援事業所：定員20名

- ・おおむね3歳～6歳までのお子さんが通っています。
- ・年齢が近いお子さんと3つのクラスに分かれ、1クラス6～9名の小さな集団で療育を提供しています。
- ・活動は、制作、小麦粉粘土、音楽遊び、散歩、公園、鬼ごっこなどルールのある遊びなどを楽しんでいます♪

★鬼のお面制作 ★(児発)

クラスごとに
違いがあり、
可愛い♪



右：施設外観
左：子ども達
の作品



✿児発、放デイ共にお子さまだけでなくご家族の皆さまにも安心して頂けるよう家庭に寄り添うことを大切に支援しています。

👏 手形花火 👏(放デイ)



○放課後等デイサービス：定員10名

- ・事業所近くの6校から学齢児が利用しています。
- ・『〇〇やりたい』『〇〇してみようかな』子どもたちの気持ちを大切にし、学校終了後から家庭に戻るまで『楽しみながらも、ほっとひと息』つける居場所となるように努めています♪

小羊学園のお勧め!

障がいのある人にやさしい外出スポット

VOL.3

静岡エリアでのお勧めスポット

広野海岸公園

(ひろのかいがんこうえん)

広々とした駐車スペースに車を止め、防波堤に向かって歩き出す。しばらくすると空と海とが重なり合った水平線が目に入り、その瞬間、心が解き放たれる。



近辺にはおしゃれな飲食店がいくつもあります。
晴天の休日に出かけてみたらいかがでしょうか♪

ところ：静岡市駿河区広野海岸通1

駐車場開場時間：6:00～21:00

※12月～2月までは6:00～20:00開場（普通車220台）

KOHITSUJI STAFF



Vol.18

リレートーク

わたなべ まり
渡邊 真理さん

2006年入職
つばさ静岡 たんぽぽ
保育士

Q小羊学園を
志した動機は？

学生時代のボラン
ティアで、重症心身
障がいの方の優しい
笑顔が忘れられず、
「この人たちと関わる
仕事をしたい」と思

いつばさ静岡に就職しました。

Qこの仕事の嬉しいことは？

利用者と一緒に活動や日課を過ごす中で「でき
たあ！やった！」と喜ぶ姿が見られた時は最高
に嬉しいです。

Qちょこっとプライベートを教えてください！

息子と一緒にうなぎをペットとして飼っています。

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

アグネスの青木李香さん。暫く会えていないで
すがお元気ですか？またいっぱいお話ししたい
です。

浜松ロータリークラブ様

今年も物品寄贈
ありがとうございます

12月27日に浜松ロータリークラブ様が法
人本部に来訪し、今年もタオル等の生活用品
をご寄贈くださいました。毎年、会員企業様
にお声掛けしタオル等の寄贈物品を集約して
下さいます。温かな善意に心より御礼申し上げ
ます。

写真右側 浜松ロータリークラブ 曾布川様
(大学産業株式会社代表取締役社長)

Tシャツ500枚寄贈
株式会社グラフィック様
1月26日、東京に本社のあるア
パレルメーカー「株式会社グラフィッ
ク」袋井センターの守屋様が支援
センターわかぎを来訪され、新品
のTシャツ500枚を寄贈くださ
いました。
種類やサイズも豊富でお洒落な
デザインに心躍ります。利用者の
皆さんに好きなものを選んでもら
い分配いたします。グラフィック様
のご厚意に感謝いたします。

小羊学園を支える会

2021年度 寄付金報告

12月~1月分 3,104,000円 (153件)
累 計 7,579,021円 (370件)

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。
下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)

小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337

あ
と
が
き

新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を
振るっています。この第6波が少し
でも早く終息してほしいですね。

北京オリンピックが始まりました。
た。しかしながら競技の話題もさる
ことながら、新型コロナウイルスや政治的な
話題が多く感じてしまします。なん
となく近頃は暗い話題が多く感じて
いますが、アスリートの皆さんには
頑張っていたいただき、明るい話題を提
供してくれることを願っています。
まだ寒い日が続きます、どうぞお
身体ご自愛下さい。